



こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

市議会から県議会へ活躍の舞台を飛躍させた成田市選出の小池正昭(こいけ・まさあき)県議は、昨年12月議会の一般質問と2月議会の予算委員会に続いて、6月定例県議会でも一般質問に登壇し、空港問題を中心に森田知事ら県執行部に迫りました。小池県議は、成田空港へのLCC(ローコストキャリア)の本格参入によって、新たなビジネスモデルに成田空港が対応しきれぬのかという不安があるのも事実。としながらも、成田空港のさらなる充実、発展を目指すべき千葉県として、戦略的施策を実行する必要性に迫られており、これまで提言してきた内容を着実に実現することが求められている一語り、速やかな問題解決を迫りました。

小池県議は、ほかに圏央道建設促進などの道路行政、農業問題、公設卸売市場問題などを取り上げました。

6月県議会一般質問 成田市特集



県議会の本会議場で空港問題を熱く語る小池正昭県議

LCCで変わる成田空港

戦略的施策実行の必要性訴え!

CIQ時間短縮の対策要望

小池議員 世界で繰り広げられる空港間競争の中、トータル時間の短縮に欠かせないスムーズなチェックイン体制や税関、出入国管理、検疫などいわゆるCIQの待ち時間短縮についても、これまで成田空港の課題として認識されてきたものです。

そこで、伺います。成田空港緊急戦略プロジェクト会議の提言内容のうち、CIQの対応改善、駅等での手荷物チェックイン

の可能性、成田空港と東京駅のアクセス時間の短縮についての行動と成果はどうか。

森田知事 提言のうち、CIQの改善及び東京駅とのアクセス時間の短縮については、国に対して、提言後の要請に加え、毎年継続して要望してきたところです。

この結果、CIQについては、国が第1旅客ターミナルビルにおいて、入国審査窓口の増設事業に着手しており、平成25年度末には、現在の33ブースを42ブースと認識しています。

また、東京駅とのアクセス時間の短縮については、現在、国において検討が進められているところです。

なお、空港外の主要駅等での手荷物チェックインについては、移動時の負担が軽減され、利用者の利便の向上が図られるものと考えていますが、基本的には航空事業者が実施するものであり、今後の検討課題であると認識しています。

ナリタ今後の課題は何か

小池議員 LCCの新規就航など、新たなステージを迎える成田空港の可能性と今後取り組むべき課題は何か。特に、LCC早朝深夜便への対応について、どのように検討しているのか。

総合企画部長 成田空港は、年間発着枠30万回の合意によって、LCCの新規就航や国内線の拡充など、新たなステージを迎えており、アジアのグローバルハブ空港として、一層の機能充実に図られるとともに、県民の利用しやすい空港としても大きく飛躍する可能性を持っています。

なお、LCC早朝深夜便への対応については、これまでの「グレード・アップ」ナ

要望

先日、LCCの会社の方とお話する中で、千葉県に対して感謝しているという話がありました。それは、4月に立地企業補助金の要項を改正したことで、LCC2社もその補助金の活用が視野に入っていることと、新たな企業を応援しようとの姿勢を大いに評価するものでした。その地元企業として地域に根付いて雇用を創出する「おもて返し」をする意味でもさまざまな面で貢献してきたいとの発言もありました。今年の成田を拠点としたLCC就航は、大きな変化であり転機です。発着枠30万回への拡大をきっかけに、新たな可能性が広がった成田空港ですが、世界の主要国際空港と肩を並べて、その競争の中で勝ち抜いていく空港に発展させるという意味で、知事を筆頭に県としてもさまざまな支援を行い、戦略的な施策の展開をより一層力強く推進していただきたい。

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

小池まさあき 県議事務所 TEL.0476(35)0311

〒286-0111 成田市三里塚188

●メールもお気軽にご利用下さい。 koike@ngy.3web.ne.jp

成田地域の最重要道路ネットワークについて問う

中央道 用地取得難航で開通目標に遅れ

小池議員 東金・茂原間と、茂原・木更津間と同じ平成24年度の開通予定が掲げられてきた中央道の開通目標が、県境―大栄間はいつの間にか平成25年度以降という表現に先送りされ、開通時期が不明瞭になってしまった現状にあります。

県境―大栄間の開通目標が平成25年度以降となった理由と、現在の進捗状況はどうか。

県土整備部長

圏央道の県境から大栄間は、平成24年度の開通目標に向け、整備が進められてきたところですが、用地取得が難航している箇所があり、やむを得ず、開通目標を平成25年度以降に変更したところです。

国は現在、残る用地の早期取得に向け、任意交渉と並行して土地収用法の手続きを進め、土地や物件の立ち入り調査等を実施しています。

また、工事についても、用地取得後速やかに完成が図られるよう全線にわたって進めています。

県としては、1日も早い全線の開通に向け、引き続き地元市町とともに、事業の推進に協力してまいります。

早期開通を要請

千葉NT内の側道渋滞問題

小池議員 北千葉道路の

千葉ニュータウン内の側道部分について、現行の2車線を維持する考えはないのか。

県土整備部長 北千葉道路の千葉ニュータウン地区内については、現在、都市

要望

開通目標が平成25年度以降となった理由は、土地収用法の手続きの時間も視野に入れてのことですが、工事期間の短縮について関係機関を働き、検討していただきたい。



議場の自席から再質問に立つ小池県議

農業問題

廃プラ処理も東電補償を

小池議員 廃プラスチックを処理する県内唯一の施設で、千葉県も出資している「千葉園芸プラスチック加工株式会社」で、洗い流した土から1キログラム当た

り最大5万8千ベクレルの放射性セシウムが検出されました。

これにより、県は農業者に対し、「廃プラ回収の新しいルール」を策定しました

再生機構により、これまでの側道に加え、新たに掘削部で本線約10キロメートルの整備を進めているところだ。

このうち、さる5月に6・5キロの本線が完成しましたが、側道との合流点付近で車線を減少させる等の規制を行い、渋滞が発生したことから、県は速やかに関係機関と協議し、渋滞緩和の応急対策を講じたところです。

今後、県としては千葉ニュータウンの開発や北千葉道路の成田方面への進捗状況及びそれに伴う利用交通量などを踏まえ、市や関係機関と連携し、本線部と側道部の車線運用など、適切な対応が図られるよう検討してまいります。

都市の発展のためにも2車線維持を要望

今後、側道部は都市計画では、1車線になると将来決定されていますが、地元経済圏、商業施設等を考慮し現状の2車線での運用が継続できるようにお願いしたい。

程で高い濃度の放射性物質が検出された原因をどのように認識しているのか。

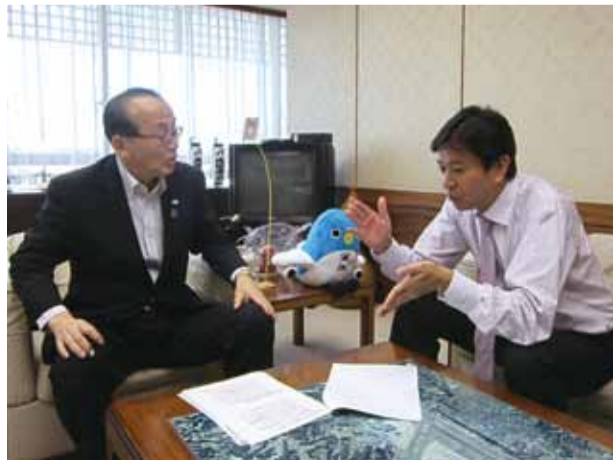
農林水産部長 同社では、県内農家から使用済みの廃プラスチックを受け入れ、洗浄、熱処理を行い、再生品の原料としてリサイクルしており、その過程で発生する汚泥から放射性セシウムが検出されました。

原因は、回収された廃プラスチックや土に付着していたセシウムが、洗浄の過程で沈殿した汚泥に吸着・濃縮されたためと考えています。

小池議員

県の施設でも

あり、運営を委託している県として処理工場の受け入れを中止しなければならなくなることの損害を東京電力に請求すべきではないか。



小泉成田市長と政策協議 県と市のパイプ役として活動

卸売市場 創意工夫で適正運営を

小池議員 公設卸売市場

は、近年、少子高齢化による食糧消費の減少、消費者ニーズの変化、スーパーやコンビニなど需要形態の変化などにより、市場経路率

が減少し続けています。全国的な傾向として、その在り方が問われている中で、今後も農林水産物の重要な販路として、また、地域小売店を支える流通拠点としても、卸売市場が重要な役割を担うべき施設として位置づけられていると認識しています。

来像について、県の見解はどうか。

農林水産部長 卸売市場は、鮮度が低下しやすく、生産量が自然条件によって左右される生鮮食品の流通の重要拠点として、集荷・分荷・公正な価格形成、代金決済などの諸機能を、将来にわたって果たしていくことが必要であると考えています。

小池まさあきプロフィール

経歴

- 昭和41年9月 成田市生まれ 三里塚小、遠山中、千葉日大一高、日本大学理工学部卒
- 同大学院理工学研究科修了
- 平成7年4月 成田市議会議員初当選(4期連続)
- 平成21年6月 成田市議会議員初当選
- 平成23年4月 県議会議員初当選

現職

- 県議会 総合企画水道常任委員会委員